

栄養指導支援ソフトウェア

# WELLNESS Eat

日本食品標準成分表対応  
日本人の食事摂取基準 [2005年版] 対応

個人の栄養調査データの  
入力時間は▶



画面を使った個人指導は▼  
個人に渡す結果票は▼

▼食事摂取基準などの指示値の  
ユーザー登録は



動作環境

O S : Windows 2000\_SP4 Windows XP\_SP3  
CPU : PenitumIV1.5GHz 以上を推奨  
メモリ : 512MB 以上  
HDD : 50MB 以上  
プリンター : A3版に対応したもの

## 登録済マスターデータ

- 食事摂取基準
- 食品データ
- 料理データ
- 適正比率
- 配分表
- 目安量
- 成分グループ
- 処方コメント
- 活動内容 (Af,RMR,METS)
- 肥満度

# 栄養指導のアシスタント！

## Take your healthy life!



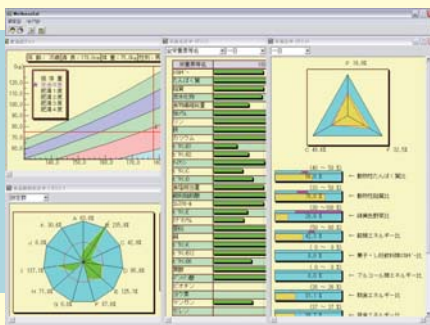
### 入力のポイントは容易さ！速さ！栄養指導にもすぐ使える！

献立は食品・料理どちらでも入力可。食品・料理名の最初の2～3文字を入力するだけ。ごはんなら「ごは」、親子丼なら「おや」。もちろん、食品番号や食品群での入力もOK。摂取量(g)の変更も簡単。摂取量入力時には目安量も表示されます。(大さじ1杯○など)又、対象者の食事摂取基準と比較しながらの入力も可能なので献立作成にも役立ちます。



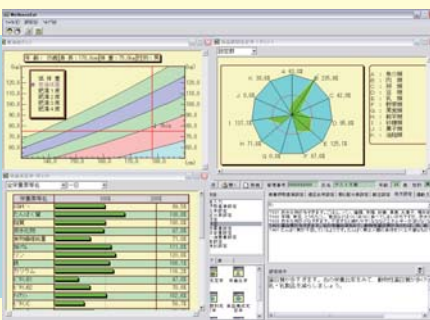
### 食事摂取基準・適正比率・食品構成・処方コメントの登録が可能！

治療や指導の効果を上げるためには対象者の状態に合わせて適正値を検討し、食事・栄養管理を行っていかれることでしょう。使いたい値を簡単に登録でき、直ちに使用可。一度登録しておけば他の対象者にも使用できる上、変更も簡単。各病院の約束食事箋などの値もそのまま登録してご使用いただけます。食品・料理の追加もできます。



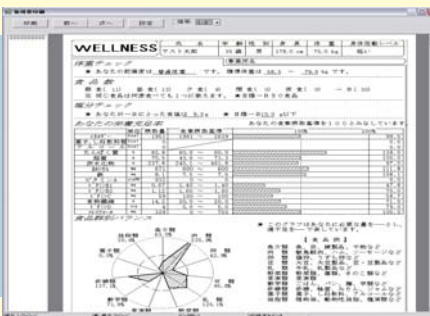
### ひと目でわかる多種類のグラフ！

栄養充足率、栄養比率、食品群別バランス、肥満度などその対象者の状態がグラフにより一目瞭然。栄養指導の媒体として使用すれば対象者に視覚的に現状を知らせることができ、説得力があります。また、過去のグラフと比較することで変化をとらえることができ、その後の治療や指導に役立ていただけます。



### グラフや分析値を見ながら処方コメントを決定！

行動変容を促すにはその対象者に向けた適切なアドバイスが欠かせません。画面上でグラフや値を見ながらその対象者に合わせた処方コメントを入力することができます。共通なコメントは登録しておき、たやすく引き出せるので、短時間で入力が可能。現状に基づいて伝えたいことを存分に表現でき、コメントの修正も容易です。



### 栄養指導票

対象者の肥満度、栄養素摂取量、食事摂取基準、栄養比率、食品群別バランスなどの値やグラフに処方コメントを添えた1枚の栄養指導票を作成。運動アドバイスやエネルギー消費量の目安も加わり、対象者が家庭での自己管理を行っていくのに役立ちます。

<お問い合わせ>

株式会社 トップビジネスシステム

〒703-8203 岡山市中区国府市場 65-7

Tel (086)275-5004 Fax(086)275-4363

URL <http://www.topbs.co.jp>

